

news -----

▼「駅前再開発」が見えてくる年
・問屋町中央東・西地区の再開発

▼市政&議会報告

- ・「Park Line 構想」と都心の道空間
 - ・「金公園」再整備と文化センター
 - ・「ほこみち制度」が4月より開始！
- *内面をご覧ください



岐阜市議会議員

和田
NAOYA * WADA
直也

Profile: 1980年生 岐阜幼稚園、木之本小(現 徹明さくら小)、本荘中、97年 米国 Saratoga H.S. Rotary Youth Exchange、99年 県岐阜商 国際コミ科卒、立命館大法卒、06年立命館大大学院修了(法学修士)、再生日本・元岐阜県知事梶原拓事務所勤務、07年岐阜市議選初当選(現在4期目)、未来のために中長期的に政策立案します。

党 派: 自由民主党
会 派: 自民岐阜(副幹事長)
政治団体: クラブ青空(代表)
役 職: 文教委員長、議会運営委員、社会教育委員長、都市計画審議会委員、旧庁舎跡地等活用対策特別委員、

◆ 駅前再開発が見えてくる年



岐阜市議会でも度々議論となります。岐阜駅前再開発について、2月の新聞各紙で報道がありました通り今年はその姿(パース等)が見えてくる年となります。具体的には4月の都市計画審議会で容積の緩和等が審議される予定です。昨年2月の都市計画審議会において、東西2つの再開発事業を一本化しスピードを早めた上、主要用途を「商業業務等」と決定されました。都心居住施策を推進する中心市街地活性化基本計画(内閣府)に基づく事業です。この一年間、係る事業の事業者募集が行われ、昨年末までに地元の再開発組合との協議が行われた結果、低層階に商業・業務施設、高層階に居住施設が入る駅前ツインタワー計画の方針が固まり、この度の報道へと繋がりました。3月の岐阜市議会でもイメージパース等が公開され、議論が本格化します。もとより、私の記憶する限りでは地元の故早田純元市議が特に力を入れた事業であり、十数年来の悲願です。先代への敬意を大切に、事業が大きく一歩を踏み出す令和4年に期待しています。

みんなの知恵を集める cafe



駅前再開発を現場で考えよう

3月26日(土) 10:00-11:00

場所: JR岐阜駅前広場「黄金の信長銅像前」集合
今回は「駅前再開発」をテーマに皆さんと現場を歩きながら解説を加えたのち、現場で意見交換したいと思います。オンラインは私の携帯端末を通じて対応します。右記QRよりご入室下さい。



zoom QR

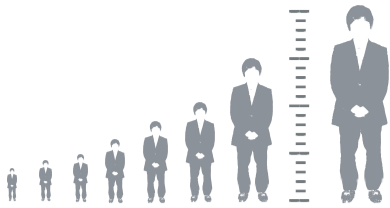


WADA NAOYA
OFFICIAL WEBSITE



+ SNS





和田直也を大きくする会

編集・印刷 岐阜市議 和田直也

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1

TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp

Vol.80

2022年 春号 Vol.2

自民党

市

議会で度々取り上げられてきた「トランジットモール（歩車共存道路）」の交通

社会実験は、平成28年〜地方創生活加速化交付金を活用して、神田町（長良橋通）と金町（金華橋通）で5年に渡り展開されましたが、この成果を踏まえ、新たに都心道路空間を「歩くこと」や「広場」として機能転換することを目指すため「中心市街地道路空間活用懇談会」が発足しました。道路管理者、警察、地元代表、商店街代表、有識者等で構成され、今後の岐阜都心の道空間の在り方を再検討していきます。岐阜市では長年にわたり、郊外環状線整備に力を注いだ結果、都心に用のない通過交通量が減少、都心で慢性的な渋滞区間は殆どありません。結果として都心のための道空間、都心を訪れる人のための居心地の良い道空間整備に舵を切る形で検討が始まります。例えば金華橋通りの並木道公園（Park Line）構想もその一つ、

駅〜柳ヶ瀬〜市役所区間を心地よく歩く未来を創造していきます。

議

会で従前より提起した金公園の再整備計画がいよいよ始まりました。東京

都豊島区の南池袋公園を意識したサードプレイスを標榜する都市公園です。都心の芝生の上でゴロンとくつろぐ方の姿も高島屋南地区再開発事業の完成を見込む来年春（同事業と同時期に整備完了予定）には見られるのではと楽しみにしています。今回の公園整備は周辺環境との調和が重視されています。環境との調和が重視されています。であるがゆえ、市議会では金公園と隣接する岐阜市文化センターの再整備を要望しています。同センターは、開設から既に40年近くが経過しています。トイレが地下や中2階に位置するなど時代の要請に応えられていない点、公共施設マネジメントの観点なども勘案しつつ、最先端の考えに基づく新しい金公園と隣接する同じ市の施設として、その一体的なコンセプト統一と共に一体的な活用の在り方をぜひ構築していきたいと思えます。庁内組織の横串連携で実現できるものと考えています。

会

合さまでさまで縁を頂く中で、市商連（岐阜市商店街振興組合連合会）の皆

さんと昨年から進めているのが、「ほこみち」制度です。神田町6丁目「ほこみち」の、まるでかるたのような旗が取り付けられたことで「ほこみちって何？」との問い合わせが増えてきました。歩行者利便増進道路と冠いコロナ特例で店先でのテラスやお弁当販売など、道路占用の緩和措置を時限的に行っていたものが事実上恒久化される制度です。日本には駅でしか見かけないけれどもヨーロッパの街並みでよく見かける「キヨスク」や「オープンテラス」等の設置が可能となる制度のことです。コロナを通じて屋外空間への関心が高まりつつあるように思います。コロナ禍前から機運が高まり始めていたサードプレイス等の理念ともミックスされながら、その一つの新しい制度としてぜひ岐阜市のメインストリートの一つである神田町（長良橋通り）から試みてみたいと思えます。

◆ Park Line 構想と道空間



並木道公園構想がいよいよ始動
トランジットモールを提唱する一人として、歩くことを基本とした道づくりに一層力を注ぎます。

◆ 金公園整備と文化センター



金公園整備と文化センター再整備
サードプレイスを標榜する新たな金公園に隣接する岐阜市文化センターの再整備を調整します。

◆ ほこみち制度が4月開始！



県土木事務所が4月より指定
道路管理者である県土木事務所が4月より神田町を「ほこみち制度」に指定（最長5年間）します。

みんなの知恵を集める cafe ♪
駅前再開発を現場で考えよう！

毎月開催

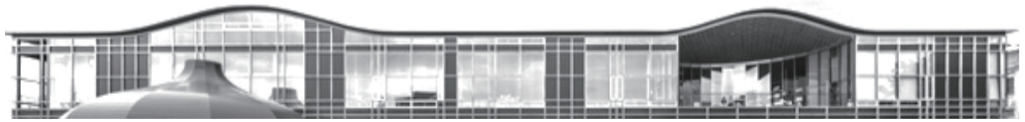


3月26日(土) 10:00-11:00



オンライン code zoom QR

場所：JR 岐阜駅前広場「黄金の信長銅像前」集合
今回は「駅前再開発」をテーマに皆さんと現場を歩きながら解説を加えたのち、現場で意見交換したいと思えます。オンラインは、私の携帯端末を通じて対応します。上記QRより入室下さい。



WADA NAOYA
OFFICIAL WEBSITE



+ SNS

